

「国保の県単位化について十分な議論を」



岐阜市 市民生活部
国保・年金課長

石神 敬文

今年度、国保・年金課長として2年目を迎えることになりました。昨年は岐阜県国民健康保険団体連合会の皆さん、県内の国保主管課長さん方に支えられながら広域の業務をなんとか務めさせていただきました。この場をお借りして皆様にお礼申し上げます。

さて、私の健康づくりと言えば、平日の夜にジョギングをすることです。本当は早朝が理想的ですが、恥ずかしがり屋であることや、走りながら1日を振り返ってクヨクヨ反省したり、疲れてぐっすり眠ることができないため、夜間走ることにしています。週2、3回のペースで 아이폰のアプリを使ってアクティビティを管理し、映画「ロッキー」のテーマ曲などを聴きながら自分を奮い立たせています。今頃の季節からは、夜9時くらいでもウォーキングやジョギングをしている人を見かけますが、交通事故などに遭わないよう、また不審者に間違えられないよう気を付けて続けていきたいと思っています。

さらに週末は、県内や鈴鹿辺りで日帰りのできる山に登山に出かけています。早朝に起きて車を飛ばし、ガツと登って頂上で一息したら、ダツと下る修行のようなことをしています。グループで行動したり、景色や動植物を楽しんだり、悠長に食事や休憩を取ることがほとんどなく、さっさと家に帰って、家族とゆっくり過ごすと非常に充実した週末だったと感じることがあります。週末は平日以上に早起きを心がけ、有意義に過ごすことでストレスが発散され、翌週に向けて英気が養われる気がします。月曜日からは仕事に集中しながら、次の週末を楽しみにしています。

最近、特に訪れる機会が多い場所は、自宅から目と鼻の先にある岐阜市の最高峰で、金華山の北側に位置する、百ヶヶ峰（417・9m）です。家族連れでも気軽に楽しめる山で、平日でも朝早くから訪れる方が多くいます。登山ルートはいくつもあり、遊歩道も整備されています。展望台からは金華山、長良川、木曾川、遠くの山々を望むことができ、登山初心者の方にお勧めです。

さて、最後に触れなければならぬ話題です。国保の県単位化まで1年を切っています。岐阜県と市町村の協議が進んでいるとは言えない状況に日々ややもやしています。4月には、県内都市国保主管課長の総意として話し合いを早く進めていただくように県に要望書を提出いたしました。

内容としては、1つ目として、残り少ない期間の議論のスケジュールを明らかにして、岐阜県国保のあるべき姿の議論を早期に始めること、2つ目として、連携会議で十分に議論したうえで事業費納付金の算定方法を決定すること、3つ目として、納付金の試算結果資料の明記方法の改善、4つ目として、県がリーダーシップを発揮して、国保事務の効率化、標準化、広域化を促進すること、5つ目として、30年度からの予算や収支シミュレーションについて担当者に研修会を実施すること、6つ目として、保険者努力支援制度の評価指標に係る「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」の早期策定です。

十分に議論して合意形成されたことについては説明責任を果たして、県、市町村が協力して30年度を迎えられることを願っています。